



2019・9・8  
第1627号

日本共産党  
宮古地区委員会  
市内宮町4-6-49  
電話62-5808  
FAX 62-3897  
しんぶん赤旗  
日刊紙3497円  
日曜版 930円

# 君死にたまふことなかれ

## 平和と感動をかみしめる時間

8月25日、市民交流センター多目的ホールで市内で2回目のCDによる「平和コンサート」が開かれました。

CDコンサート

介しながら、あの戦争はなんだったのかを考えたい、掛けがえのない命と平和の尊さをかみしめ、交流する場として企画しました。

準備などは、どのようにされましたか。

「宮古・下閉伊地域の戦争を記録する会」が事務局を担当する実行委員会主催しました。当日は115人が参加しました。語りは私が行い、朗読は3人をお願いしました。

紹介曲はどんな内容ですか。

日露戦争当時の与謝野晶子の反戦詩「君死にたまふことなかれ」



CDコンサート開会の様子(中央が前川氏)

「コンサート」を企画した前川慧一氏(名曲鑑賞会会長)に取材しました。

開催の意図はどんなところにありますか。  
戦時・戦後の歌謡曲に込められた国民の自由と平和への思いや願いを紹介

### 漁業調整の適切な具体化を 個別に漁民の利益も考慮して

問題は「漁民らの生活を困窮させてまで、定置網事業者にサケ漁を独占させることに合理性があるのか」という点です。また、その是非は「漁業調整に含まれる」内容でもあります。

澤藤弁護士は県の対応を「一人の漁民の利益も漁業調整の考慮要素となることは明らか」として「一件でも不許可により生計が立てられず、廃業に追い込まれようとしている実例があれば、そのことを真剣に考慮して処分したかが、県には厳しく問われる」と主張しています。また、「一人の漁民の証言すらさせない県の態度は、処分時と同じく個別の漁民の利益を考慮しなかった」と白状したに等しい、と県の対応を指摘します。

#### 問われる県の漁業政策

世界三大漁場に数えられる三陸沖を有する岩手県の漁業は海水温の上昇や乱獲漁法の放置により各魚種の不漁が続く、危機にひんしています。その中でもサケのふ化放流事業には少なくない公金が毎年度使われており、定置事業者などを優遇する県の政策が漁業法目的に照らし、妥当かも問われます。

- 1、「底びき網漁、大型まき網漁の操業海区から小型漁船の操業区域を守るためのルール」をつくること。
- 2、漁業の存続に不可欠な魚資源の再生のため岩手県のみが許可している2隻式底びき網漁を禁止する法的な整備を図ること。
- 3、現行のカジキ、マグロ流し網漁を見直し、操業は周年に、海域は12海里以遠での操業とし、漁獲枠の配分は小型漁船漁業者の不利益にならないように設定すること。
- 4、「漁業法」の実施を延期し、漁業者の声を聞き直すこと。

### 全漁調連へ要望書提出

県漁業調整委員の蔵徳平氏は全漁調連に下記の要望書を提出しました。

参加者の感想などはどうですか。  
参加者にアンケートをお願いしましたのでいくつか紹介させていただきます。(下の蘭に掲載)

### はじめて経験、心に響く時間

赤紙にシヨックを受けました。これ1枚で本人のみならず、どれだけ多くの人生が変わってしまったことか。こういう形の静かなコンサートを始めて経験しました。どれも知らない歌ばかりでしたが、心に響く時間でした。(女性50代)

大変良かった。歌と語りがマッチし、涙が流れました。戦争反対の気持ち、心が伝わりました。平和への運動大きくしていきたい。(男性70代)

### 漁火

秋の季節は昔から実りを意味する。態度の度合い人間を論ずる言葉に稲穂が用いられる▼内容をともない中身が重くなる人物ほど頭が低い。またそうあるべきという意味に理解されている。安倍総理は戦後歴代総理の在任記録を更新中▼でも稲穂を連想する国民がどれだけいるのか。自民党総裁選挙では対立候補の「ウソをつかない正直な政治」というスローガンが党内で問題になった▼政界では偽造、ねつ造、○○シンゾーという言葉も飛び交う。総理の思いは寝ても覚めても憲法改正。天皇を元首とする戦前の日本が美しく見えるようだ▼昭和天皇は今日の憲法でない時代(戦前)は現人神だった。今は象徴に変わり、国民主権の時代だが、自民党などは米国の押し付け憲法として改正が党是だ。必要なのは憲法を守り、いかす事だ。

